

2025 年度 西南学院の決算概要について

学校法人は、私立学校法に基づき、学校法人会計基準の定めに従って会計処理を行い、計算書類（決算書）を作成する必要があります。本学院の 2025 年度決算は、5 月 29 日に監事および会計監査人の監査を終了し、6 月 25 日の定期理事会において承認されましたので、その概要についてご報告いたします。

1. 貸借対照表

貸借対照表は、年度末における学校法人の財政状態を示しています。

当年度末の資産の部合計は 79,287,550 千円で、前年度より 1,354,993 千円増加しました。この主な要因としては、現金預金の減少および減価償却の進行により有形固定資産が減少した一方、特定資産の積立増および有価証券の増加により固定資産が増加したことが挙げられます。

負債の部合計は 7,040,789 千円で、前年度より 442,326 千円増加しました。これは、学校法人会計基準の改正に伴い、2025 年度より新たに賞与引当金を計上したことが主な要因です。

この結果、純資産の部は前年度より 912,667 千円増加して 72,246,760 千円となりました。なお、2009 年度末以降、借入金はありません。

2. 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、当該年度の「教育活動」「教育活動以外の経常的な活動」及び「その他の活動」に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容を明らかにするとともに、収支の均衡状態を示すものです。

教育活動収入においては、2025 年度の大学学費改定により、学生生徒等納付金が前年度より 86,586 千円増加しました。また、高等教育修学支援制度の対象拡充（多子世帯への拡大）等により、経常費等補助金が前年度より 891,527 千円増加しました。この結果、教育活動収入計は前年度より 1,000,067 千円増加し、予算比では概ね計画どおりに推移しました。

教育活動支出においては、人件費は 7,635,280 千円となり、経常収入に対する割合は 51.9%と全国平均（50.9%）を上回る水準となっています。教育研究経費は前年度より 851,767 千円増加しており、主として高等教育修学支援制度の拡充に伴う奨学費の増加（804,863 千円）によるものです。また、田尻グリーンフィールド改修費の計上等により、教育活動支出計は前年度より 879,192 千円増加しました。なお、経費節減の取組により、予算比では 654,817 千円の減少となっています。

以上の結果、教育活動収支差額は前年度より 120,875 千円増加し 1,166,046 千円となり、予算比では 625,444 千円好転しました。なお、修学支援制度の拡充により収入・支出はともに前年度より増加していますが、収支差額への影響は限定的であり、教育活動の収支バランスは維持されています。

受取利息・配当金で構成される教育活動外収入は、金利上昇局面において、特定資産を含む有価証券の取得を積極的に行った結果、前年度より 58,193 千円増加し、予算比では 31,808 千円増加しました。この結果、教育活動収支差額と教育活動外収支差額の合計である経常収支差額は前年度より 179,068 千円増加し、予算比では 657,252 千円好転しました。

特別収支については、当年度は学校法人会計基準の改正に伴い、賞与引当金の特別繰入れ 471,463 千円および資産処分差額を計上したことから、特別収支差額は 504,330 千円の支出超過となりました。

以上の結果、基本金組入前当年度収支差額は 912,667 千円となり、前年度より 393,912 千円減少しました。事業活動収支差額比率は 6.2%となっています。経常収支差額は前年度より 179,068 千円増加したものの、特別収支差額の減少幅が大きく、これが全体の収支差額を押し下げる要因となりました。なお、予算比では 683,633 千円好転しました。

基本金については、田尻グリーンフィールドのラグビー場人工芝更新、西南コミュニティーセンターの空調更新、小学校厨房の空調機器等の更新、小学校無線 LAN 機器更新等並びに除却に伴う取崩対象額を部門別に相殺し、第 1 号基本金の組入れ 77,076 千円を計上しました。第 2 号基本金の組入れは、西南会館、学術研究所、新講義棟建築のための 1,000,000 千円及び中学校・高等学校校舎改築資金 100,000 千円であり、将来の教育環境整備に向けた組入れです。第 3 号基本金の組入れは、大学奨学金、中学校・高等学校奨学基金等の 200,716 千円、第 4 号基本金の組入れは、恒常的に保持すべき資金として 9,148 千円です。

この結果、基本金組入後の当年度収支差額は 474,271 千円の支出超過となり、前年度より 1,069,018 千円減少しました。なお、予算比では 77,253 千円好転しました。また、翌年度繰越収支差額は 1,430,747 千円の支出超過となっています。

3. 資金収支計算書

資金収支計算書は、当該年度の諸活動に対応する全ての収入及び支出の内容並びに支払資金の収入及び支出の顛末を明らかにするための計算書です。

当年度の資金収入は前年度より 1,945,247 千円増加し、20,562,249 千円となりました。これは主として、補助金収入および資産売却収入の増加によるものです。前年度繰越支払資金 9,322,063 千円を合わせた資金収入の部合計は 29,884,313 千円となりました。

一方、当年度の資金支出は前年度より 2,763,509 千円増加し、21,060,797 千円となりました。これは主として高等教育修学支援制度による奨学費の増加および第 2 号基本金引当特定資産の繰入れ、有価証券の取得を含む資産運用支出が増加したことによるものです。

資金収入の部合計から当年度の資金支出を控除した翌年度繰越支払資金は、前年度より 498,547 千円減少し、8,823,515 千円となりました。

以上